

第61期王将戦七番勝負第2局

(ホテル花月)

1月25日 前夜祭
1月26・27日 対局
1月27日 大盤解説会



フォト
スケッチ
PHOTO SKETCH



対局場見学後小倉久史七段から将棋についての説明を受ける湯津上中学校生徒

『大盤解説会』→毎日新聞社、毎日新聞社 ●会場：大田原市 ●協賛：アサヒビール(株)



中村修九段(右)・小倉七段による解説



「前夜祭」
きらきらメイツから花束の贈呈

今年で7期連続となる王将戦の対局が行われました。久保利明王将と佐藤康光九段による熱戦は、124手で佐藤康光九段が勝利。第1局に続き2連勝(1月27日現在)を飾りました。また、王将戦の開催に合わせて、前夜祭、湯津上中学校生徒による対局見学、大盤解説会がそれぞれ行われました。大盤解説会には、約100名の将棋ファンが県内外から参加。小倉久史七段をはじめ、正立合の中村修九段や松本佳之六段、戸辺誠六段ら豪華な顔ぶれが登場。訪れた人たちは詳しい解説に熱心に耳を傾けていました。



対局を振り返る
「感想戦」

佐藤康光九段

久保利明王将



1月11日～2月21日

那須与一伝承館特別展示「那須家の雛人形」

江戸時代中期以降に制作され、那須家に伝来した内裏雛・五人囃子・随身の9体からなる雛人形の特別展示が行われました。この雛人形は、津軽家一門の津軽順朝(ゆきとも)の娘こうが、嘉永2年(1849)に那須資礼(すけひろ)の養女となった際に実家から持参したものと、那須家では伝えられています。



1月28日 男女共同参画講演会

(市総合文化会館ホール)

女性の海外研修報告会および米国出身で、長野県小布施町の町おこしの立役者セーラ・マリ・カミングスさんによる講演会が行われました。セーラさんは、経営難に陥っていた造り酒屋を見事に再建したエピソードやまちおこしのさまざまな企画を紹介し、出会いや交流によって人生が豊かになると話されました。